

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



日本一に向かって勇気凛々！

後期生徒会スローガン

「勇気凛々」

仲間に本気で呼びかけるとき、もう一人の自分と闘うとき、一人ひとりが**勇気をもって踏み出す**ことができるようになろう。黒木凛生徒会長から、スローガン提案の際に、「日本一熱く、絆強き学校」にするためには、こんな物事に対して勇敢に立ち向かっていく姿が必要だという話があったね。そして、「**笑顔であいさつ**」「**二分前着席・一分前黙想**」を柱に当たり前のことを当たり前にならして、さらにレベルを高めていこうと呼びかけていたね。まさに**凡事徹底**こそが、「名門・一中」をつくるんだと執行部はよ～くわかっている。素晴らしい。「**時を守り、場を清め、礼を正す！**」に、決してぶれることなくこだわっていこうな。

床を磨けば心も光る！



一中熱血物語・第1章の一番の課題は、「**場を清め！**」ではないだろうか。膝をついて汗びっしょりになりながら床を磨く姿が多くみられる一方、今日は掃除を本当にしたんだらうかと思ってしまうほど黒板の下が真っ白、廊下に残したままの汚れ、風が吹くとどこからか舞ってくるホコリのかたまり…。清掃時間を持って余している姿…。ほんの少し丁寧にそろえればいいところを、無造作に雑巾がけに手で突っ込まれた雑巾…。そして、無造作に置かれたロッカーや廊下のカバンや荷物…。まだまだ日本一きれいな学校には近づけていないよな。**教室に残したホコリは、自分たち集団のほころび！仲間の流す汗に隠れたズルさは、自分たちの成長を邪魔する心の壁！**熱くなれた1学期だったと言えるために、ラスト数回掃除に向き合おう。膝をついて床を磨こう。汗を流そう。**床を磨けば心も光る！集団が輝く！**

ふるさと津久見を愛す心！

津久見伝統の港まつりが終了。ふるさとを愛する多くの人たちが汗を流し、この祭りを支えた。そのかっこいい背中を覚えておこう。しっかりこのバトンを受け取り、次は自分たちがふるさとを支えていくために。そして、一中生の多くも祭りに積極的に参加したね。素晴らしい。こうやってどんどん地域の行事に関わっていき次は盆踊りと扇子踊りかな。地域の方々の熱い想いに応えて、太鼓や踊りの練習に積極的に参加してほしい。ふるさとを愛す一中生であろうな。FMラジオ放送では、2年生5人組と3年生2人組の企画が大好評。素晴らしいチャレンジでした。また、清掃ボランティアにもとても多くの生徒と保護者が参加し、早朝から汗を流しました。本当にご苦労様でした。立ち去った後に、その人たちの本当の姿があらわれる。学校もふるさと津久見も、日本一きれいでありたいね。

また、県水泳選手権では、宇都宮忍・若林優一・矢内楓丸・石田陸也チームが200mメドレーリレーで7位入賞。頑張ってます一中生！

